

リードのはんだ接続強度試験

JIS Z 3198-6,-7 対応

電気・電子機器や通信機器の配線や部品の接続部にははんだが使用され、その接続信頼性が重要となっています。特に、欧州で2006年7月1日より施行される有害物質規制(RoHS)に伴い、鉛フリーはんだの材料特性評価方法として JIS Z 3198-6 が発行されました。家電リサイクル法適合の観点からも、高いソルダーショックが要求される鉛フリーはんだの接続強度試験はますます重要になってきます。

はんだ接合部の故障モードとして熱疲労による劣化があり、その代表的な評価として引張り強度試験やせん断試験による残存強度を測定する方法があります。弊社では、プリント配線板の信頼性評価のひとつとして、この「リードのはんだ接続強度試験」を実施しております。

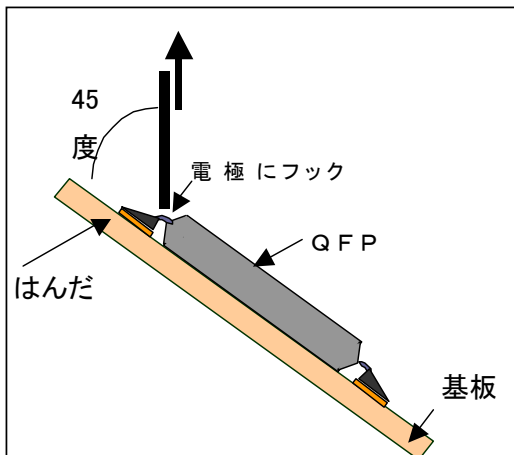
評価内容

- 鉛フリーはんだの信頼性評価
- はんだ材料変更時の信頼性評価
- 部品電極のはんだ濡れ性評価
- はんだ付け条件(リフロー)による信頼性評価
- 熱衝撃によるはんだ接合部の信頼性評価

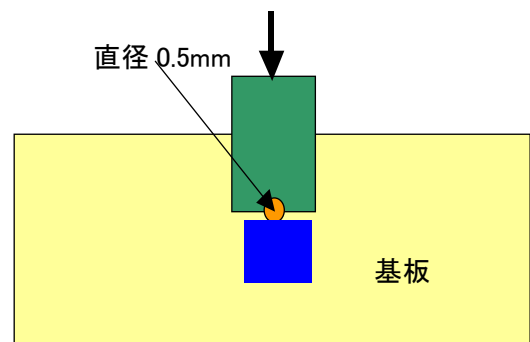
試験方法

- QFPリードのはんだ継手 45 度プル試験方法 (JIS Z 3198-6)
- チップ部品のはんだ継手せん断試験方法 (JIS Z 3198-7)

QFPリードのはんだ継手 45 度プル試験方法
(JIS Z 3198-6)



チップ部品のはんだ継手せん断試験方法
(JIS Z 3198-7)



お問い合わせ先

Chemitox

株式会社ケミトックス

URL: <http://www.chemitox.co.jp>

東京本社 / 〒145-0064 東京都大田区上池台 1-14-18

Tel: 03-3727-7111 / Fax: 03-3728-1710

電子回路安全・信頼性技術部 営業技術担当

渡邊 (h-watanabe@chemitox.co.jp)